

第114期 報告書

# TOYOTAレポート

2017年4月1日から2017年9月30日まで

Contents

- 株主の皆様へ
- 第114期前半の主なトピックス
- 写真で振り返るトヨタ設立80年の歴史
- 財務ハイライト
- 株式状況／株主メモ



TOYOTA



Worldwide  
Olympic Partner

Worldwide  
Paralympic Partner



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

自動車産業は今、電動化・情報化・知能化という100年に1度の変革期を迎えており、これまでにないスピードで変化しています。

そしてその変革をリードするのは、いつの時代も「お客様」です。

今、モビリティのコンセプトは変わりつつあります。

お客様の求めるモビリティはどんどん変化し、クルマだけでなく、モビリティサービスでもあり、街中や室内での移動を助ける新しい方法でもあります。

かつて自動織機から自動車製造業に生まれ変わったように、トヨタは新しいモビリティ時代が到来するなかで新たな一歩を踏み出そうとしています。

トヨタは、すべての人に移動の自由と楽しさをお届けする「Human Movement Company」を目指します。「MOVE」という言葉には、人や物の「移動」という意味だけでなく、「感動」という意味もあります。

「移動」そのものが、人々に「感動」を与え、人生を豊かにするものであってほしいと願っています。

株主の皆様には、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

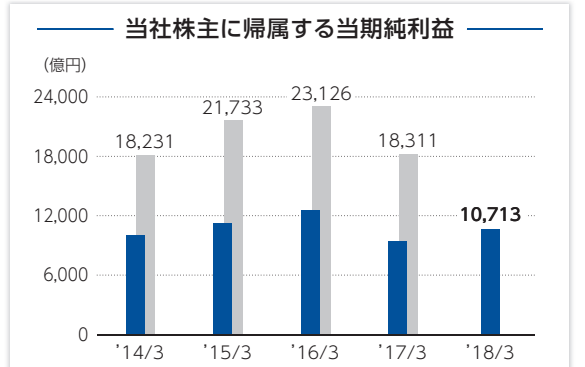
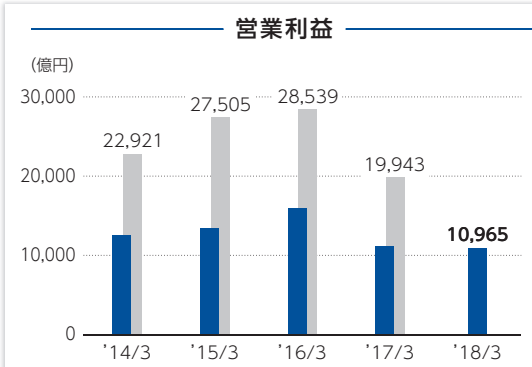
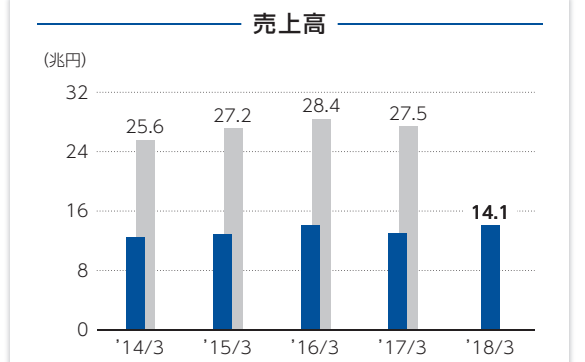
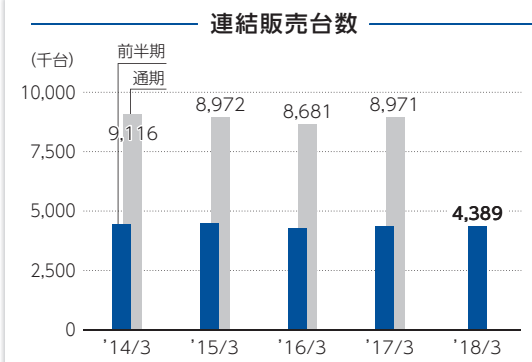
2017年9月28日、世界の投資家の皆様に向けたIRイベント“Toyota Investor Summit”を米国テキサス州プレイノ市にあるToyota Motor North America本社にて開催しました。詳細は、下記ウェブサイトにてご覧いただけます。



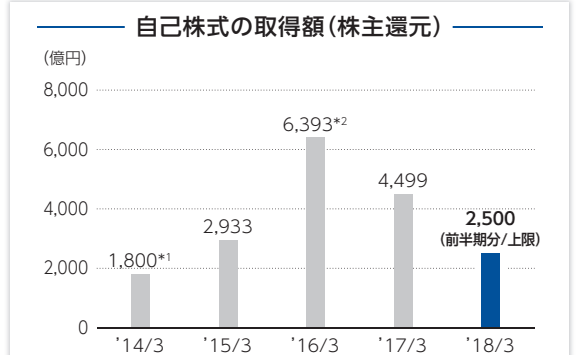
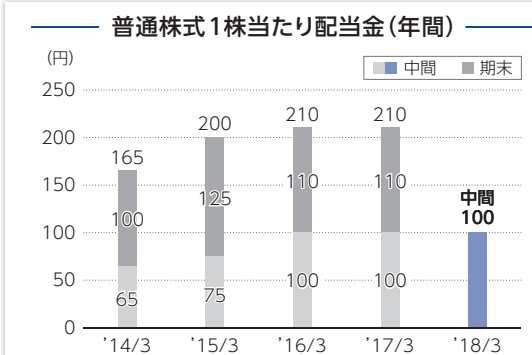
<http://newsroom.toyota.co.jp/jp/detail/19228335>

連結経営成績

■ 前半期 ■ 通期



株主還元



(注) 第1回AA型種類株式については所定の配当を実施いたします。

\*1 トヨタ・モビリティ基金への拠出による希薄化回避分1,800億円を除く  
\*2 第1回AA型種類株式発行による希薄化回避分3,499億円を除く

トヨタ自動車 決算

より詳細な財務情報をご希望の方は、当社ホームページに掲載している決算短信をご利用ください。  
[http://www.toyota.co.jp/jpn/investors/financial\\_results/2018/](http://www.toyota.co.jp/jpn/investors/financial_results/2018/)

### 米ケンタッキー工場に13.3億ドルを投資

TNGA (Toyota New Global Architecture)※をベースとした新型カマリの生産に向けて工場を刷新しました。生産工程の最新鋭化・効率化を通じ、工場全体の競争力強化を図ってまいります。



※クルマの基本性能や商品力の飛躍的向上を目指す、クルマづくりの構造改革。

### 米Toyota Research Institute (TRI)、1億ドルを投じ、ベンチャーキャピタルファンドの設立を発表

AI(人工知能)、ロボティクス、自動運転・モビリティサービスおよびデータ・クラウド技術の4分野で、有望ベンチャー企業への投資を行っていきます。



### Preferred Networks (PFN) に追加出資、AI技術の共同研究・開発を加速

当社は、ディープラーニング技術において高い技術を持つPFNへ追加出資(約105億円)しました。

今後、誰もが安心して安全・自由に暮らすことができる社会の実現を目指した新たな技術・商品・サービスの企画・開発を進めたいと思います。

### マツダと業務資本提携に合意およびマツダ、デンソーと新会社EV C.A. Spirit設立を発表

当社とマツダは、持続的な協業関係のさらなる強化を目的として、業務資本提携に関する合意書を締結いたしました。

また9月には、電気自動車の共同技術開発を効率的に進めるため、マツダ、デンソー、当社で新会社EV C.A. Spirit設立を発表しました。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

### 日本ボッチャ※協会ゴールドパートナー、日本車椅子バスケットボール連盟オフィシャルスポンサーに就任

「スポーツの楽しさ」や「スポーツの感動」を広げ、すべての人が参加できる社会の実現に寄与していきたいと考えております。



※パラリンピックの正式種目。赤・青6球ずつのボールを、ジャックボール(白いボール)に近づけるのを競うスポーツ。



### カムリをフルモデルチェンジ



TNGAに基づいた開発により、エモーショナルで美しいデザイン、意のままの走り、上質な乗り心地を実現しました。カムリはこれまで、「トヨタのグローバルミッドサイズセダン」として、100カ国以上の国や地域で販売しております。

### 2017年FIA世界ラリー選手権(WRC)第9戦ラリー・フィンランドで初優勝を果たす

これからも世界の道が我々に沢山の課題を与えてくれると思います。その中で、チーム全員が一丸となって、ヤリスWRCを鍛えていければと思います。



### 北米で改善活動を支援する「トヨタプロダクションシステム・サポートセンター(TSSC)」の25周年式典を実施

NPO法人TSSCは、災害復興等に取り組む非営利団体など、300以上の支援先にトヨタ生産方式のノウハウを共有し、改善活動などの支援に取り組んできました。

今後も当社は、どこの国でも「町いちばん」の会社になることを目指し、「良き企業市民」として、社会の発展に貢献する活動を推進してまいります。



1937▶▶▶1957



1935 発表会場に於けるG1型トラック



1938 拳母工場竣工日の役員たち



1938 拳母工場稼働開始

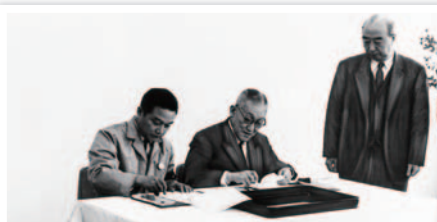


1953 会社代表標語「よい品よい考」制定



1957 米国トヨタ自動車販売(株)設立

1957▶▶▶1977



1962 「労使宣言」に調印



1965 デミング賞授賞式



1966 カローラ・ラインオフ



1966 東富士自動車性能試験場完成

1977▶▶▶1997



1977 戸建て住宅発売開始



1984 北米生産開始(写真は1988 TMM※1)



1989 レクサスLS400発表



1992 欧州生産開始(TMUK※2)

※1 : Toyota Motor Manufacturing, U.S.A., Inc.現Toyota Motor Manufacturing, Kentucky, Inc.

※2 : Toyota Motor Manufacturing (UK) Ltd.

1997▶▶▶2017



1997 プリウス発表



2014 MIRAI発表

※3 : New United Motor Manufacturing, Inc.ゼネラルモーターズ(GM)社との合弁会社。

※4 : Toyota Research Institute, Inc.



2010 最後のカローラを送り出すNUMMI※3の従業員



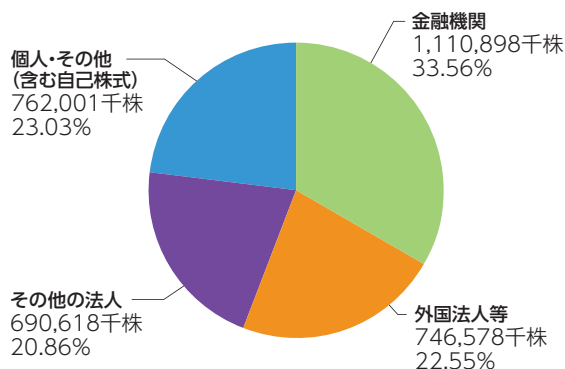
2016 新会社TRI※4設立

## 株式状況 (2017年9月30日現在)

発行済株式総数 3,310,097,492株  
(注)AA型種類株式を含みます。

株主数 672,549名

### 株式分布状況



(注)比率は発行済株式総数に対する持株比率です。

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	発行済株式総数に対する持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	376,590	11.38
株式会社豊田自動織機	232,037	7.01
日本スタートラスト信託銀行株式会社	161,958	4.89
日本生命保険相互会社	111,447	3.37
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部)	110,727	3.35
株式会社デンソー	89,784	2.71
ジェーピー モルガン チェース バンク (常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部)	69,947	2.11
資産管理サービス信託銀行株式会社	60,263	1.82
三井住友海上火災保険株式会社	59,617	1.80
東京海上日動火災保険株式会社	51,045	1.54
計	1,323,415	39.98

(注)上記のほか、当社が所有している自己株式328,212千株があります。

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

配当金支払株主 期末配当：3月31日

確定日 中間配当：9月30日

上場証券取引所 (国内)東京・名古屋・福岡・札幌  
(海外)ニューヨーク・ロンドン

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

(同連絡先) 東京都府中市日鋼町1-1  
電話(0120)232-711(通話料無料)

(同郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

### お知らせ

住所変更・単元未満株式の買取請求等のお問い合わせ先

- ①証券会社に口座を開設されている株主様  
お取引先の証券会社等にお問い合わせください。
- ②証券会社に口座がなく、特別口座に登録されている株主様  
特別口座を開設している三菱UFJ信託銀行株式会社まで  
お問い合わせください。

### T-ROAD

「もっといいクルマづくり」  
や「持続的な成長」への  
社長・豊田の熱い想い  
を、インターネットサイト  
「T-ROAD」にてお届け  
しております。  
是非ご覧ください。



インターネットの検索画面で「T-ROAD」と検索してアクセス、もしくはスマートフォンで無料アプリ「公式QRコードリーダー“Q”」をダウンロードの上、QRコードを読み取りアクセスしてください。

(注)アクセスに際して発生する費用は株主様のご負担とさせていただきます。

トヨタは、オリンピック、パラリンピックにおける自動車、自動車サービス、移動支援ロボットのカテゴリーのパートナーです。